

## 安全データシート

EC規定No 1907/2006に拠る

### DEKAPHON 9735

加工された日付: 25.02.2025

製品コード: 217072

ページ 1 の 14

## 1 化学品及び会社情報

### 1.1 製品識別名

DEKAPHON 9735

### 1.2. 物質または混合物の従来から確認された用途、および使用を差し控えるようにアドバイスする用途

使用は思いとどまるよう忠告される

利用できる詳細な関連情報はない。

### 1.3. 安全データシート作成者の詳細

会社名称:

DINOL GmbH

街路名:

Pyrmonter Strasse 76

住所:

D-32676 Luegde

電話番号:

+ 49 (0) 5281 982980

F A X 番号: + 49 (0) 5281 9829860

電子メール:

msds@dinol.com

担当者:

Labor

担当部門:

msds@dinol.com

### 1.4. 警察署・消防署への非常通話

Giftnotruf Berlin: +49 30 30686 700 (Beratung in Deutsch und Englisch)

番号:

## 2 危険有害性の要約

### 2.1. 物質または混合物の分類

EC 規制 No 1272/2008

危険有害性区分:

エゾール: エゾール 1

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 眼刺激性2

特定標的臓器毒性 ( 単回ばく露 ): 特定標的臓器毒性 ( 単回ばく露 ) 3

水生環境有害性: 水生環境有害性 長期3

危険有害性情報:

極めて可燃性又は引火性の高いエゾール。

高圧容器: 熱すると破裂のおそれ。

強い眼刺激。

眠気又はめまいのおそれ。

長期継続的影響によって水生生物に有害。

### 2.2. ラベル要素

EC 規制 No 1272/2008

ラベル表示の危険成分

炭化水素、C7-C9、n-アルカン、イソアルカン、シクレン

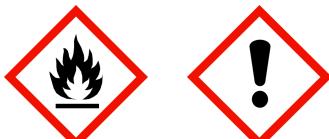
butanone; ethyl methyl ketone

炭化水素、C9-C10、n-アルカン、イソアルカン、シクレン、芳香族2%未満

炭化水素、C9、芳香族

注意喚起語: 危険

危険有害絵文字:



### 危険有害性情報

H222

極めて可燃性又は引火性の高いエゾール。

**DEKAPHON 9735**

加工された日付: 25.02.2025

製品コード: 217072

ページ 2 の 14

H229	高圧容器：熱すると破裂のおそれ。
H319	強い眼刺激。
H336	眠気又はめまいのおそれ。
H412	長期継続的影響によって水生生物に有害。

**危険の予防**

P101	医学的な助言が必要なときには、製品容器やラベルをもっていくこと。
P102	子供の手の届かないところに置くこと。
P103	使用前にラベルをよく読むこと。
P210	熱・高温のもの・火花・裸火及び他の着火源から遠げること。禁煙。
P211	裸火又は他の着火源に噴霧しないこと。
P251	容器は、圧力下にある。使用後を含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。
P280	保護手袋および保護眼鏡 / 保護面を着用すること。
P304+P340	吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
P305+P351+P338	眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P403+P233	換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
P410+P412	日光から遮断し、50 °C以上の温度にばく露しないこと。

**特別調合剤の例外ラベル**

EUH066	繰り返し触ると、皮膚の乾燥やひび割れを引き起こし得る。
--------	-----------------------------

**Labelling of packages where the contents do not exceed 125 ml**

注意喚起語: 危険

危険有害絵文字:

**危険有害性情報**

H222-H229-H412

**危険の予防**

P210-P211-P251-P410+P412

**2.3. 他の危険有害性**

情報は何もない。

**3 組成及び成分情報****3.2. 混合物**

## 安全データシート

EC規定No 1907/2006に拠る

## DEKAPHON 9735

加工された日付: 25.02.2025

製品コード: 217072

ページ 3 の 14

## 関連成分

CAS番号	化学名	数量
	分類 (EC 規制 No 1272/2008)	
	炭化水素、C7-C9、n-アルカン、イソアルカン、シクレン	15 - < 20 %
	Flam. Liq. 2, STOT SE 3, Asp. Tox. 1, Aquatic Chronic 2; H225 H336 H304 H411	
78-93-3	butanone; ethyl methyl ketone	15 - < 20 %
	Flam. Liq. 2, Eye Irrit. 2, STOT SE 3; H225 H319 H336 EUH066	
74-98-6	propane	10 - < 15 %
	Flam. Gas 1A, Compressed gas; H220 H280	
	炭化水素、C9-C10、n-アルカン、イソアルカン、シクレン、芳香族2%未満	1 - < 5 %
	Flam. Liq. 3, STOT SE 3, Asp. Tox. 1, Aquatic Chronic 3; H226 H336 H304 H412	
128601-23-0	炭化水素、C9、芳香族	1 - < 5 %
	Flam. Liq. 3, STOT SE 3, STOT SE 3, Asp. Tox. 1, Aquatic Chronic 2; H226 H335 H336 H304 H411 EUH066	
	炭化水素、C6-C7、n-アルカン、イソアルカン、環状、<5% n-ヘキサン	1 - < 5 %
	Flam. Liq. 2, Skin Irrit. 2, STOT SE 3, Asp. Tox. 1, Aquatic Chronic 2; H225 H315 H336 H304 H411	

HおよびEUH条項の表記: 16章を参照すること。

## SCL・Mファクター及び/又は ATE

CAS番号	EC番号	化学名	数量
	SCL・Mファクター及び/又は ATE		
920-750-0		炭化水素、C7-C9、n-アルカン、イソアルカン、シクレン	15 - < 20 %
		吸入: LC50(50%致死濃度) = > 20 mg/l (蒸気); 経皮: LD50(50%致死量) = > 2000 mg/kg; 経口: LD50(50%致死量) = > 5000 mg/kg	
78-93-3	201-159-0	butanone; ethyl methyl ketone	15 - < 20 %
		経皮: LD50(50%致死量) = 6480 mg/kg; 経口: LD50(50%致死量) = 2740 mg/kg	
927-241-2		炭化水素、C9-C10、n-アルカン、イソアルカン、シクレン、芳香族2%未満	1 - < 5 %
		吸入: LC50(50%致死濃度) = 4951 mg/l (蒸気); 経皮: LD50(50%致死量) = > 5000 mg/kg; 経口: LD50(50%致死量) = 4951 mg/kg	
128601-23-0	918-668-5	炭化水素、C9、芳香族	1 - < 5 %
		経皮: LD50(50%致死量) = > 3160 mg/kg; 経口: LD50(50%致死量) = > 2000 mg/kg	
921-024-6		炭化水素、C6-C7、n-アルカン、イソアルカン、環状、<5% n-ヘキサン	1 - < 5 %
		吸入: LC50(50%致死濃度) = > 25,2 mg/l (蒸気); 経皮: LD50(50%致死量) = > 3920 mg/kg; 経口: LD50(50%致死量) = > 5000 mg/kg	

## 詳しい情報

Hydrocarbons meet the requirements for not being classified as carcinogenic (<0,1% benzene alt<3% (w/w) DMSO extract (IP 346)).

## 4 応急措置

## 4.1. 応急処置の説明

## 一般情報

症状が表れた場合または疑わしい場合は、医師に相談すること。

被災者が意識不明かまたは痙攣症状がある場合は、決して口から物を与えないこと。

意識不明だが呼吸している場合には、回復体位を取らせると共に医学的助言を仰ぐこと。

## 吸入した場合

被災者を空気の新鮮な場所に移し、暖めて安静にさせること。

**安全データシート**

EC規定No 1907/2006に拠る

**DEKAPHON 9735**

加工された日付: 25.02.2025

製品コード: 217072

ページ 4 の 14

**皮膚に付着した場合**

多量の水 / せっけんで洗うこと。 皮膚刺激が生じた場合 : 医師の診察 / 手当てを受けること。

**目に入った場合**

眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。 次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。 その後も洗浄を続けること。 直ちに医師に相談すること。

**飲み込んだ場合**

飲み込んだ場合 : 口をすすぐこと ( 被災者に意識のある場合に限る ) 。

無理に吐かせないこと。

直ちに医師の診察を受けること。

当事者を、静かに寝かせ、くるんで暖めること。

**4.2. 急性および遅発性の最も重要な症状および影響**

利用できる詳細な関連情報はない。

**4.3. 必要な緊急の医療処置および特別な治療の指示**

情報は何もない。

**5 火災時の措置****5.1. 消火剤****適切な消火剤**

アルコール耐性の泡, 二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>), 消火用散剤. 霧状の水

**使ってはならない消火剤**

水の最大噴射.

**5.2. 物質または混合物特有の危険有害性**

利用できる詳細な関連情報はない。

**5.3. 消防士のための事前注意事項**

適切な呼吸保護具を用いること。

**追加の指摘**

危険区域では、従事者の保護と容器冷却のため、水を霧状に噴射すること。 ガス/蒸気/霧は、水を霧状に噴射して沈降させること。

汚染された消防用水は、分別して回収すること。 排水管や自然水系に流入させないこと。

**6 漏出時の措置****6.1. 人体に対する予防措置、保護具および緊急時措置****全般的な注意事項**

十分に換気をすること。

人身用防護装備を身に付けること。

皮膚、眼、衣服との接触を避けること。

粉じん / 煙 / ガス / ミスト / 蒸気 / スプレーの吸入を避けること。

**応急措置をする者**

詳細については安全性データシートのセクション8を参照。

**6.2. 環境に対する予防措置**

製品は、検査せずに環境中に放出してはならない。

ガス漏れ、あるいは自然の水系、土壤、下水道に漏洩する際には、担当当局に連絡すること。

**6.3. 封じ込めおよび浄化方法と機材****保管にあたって**

より広い面積への広がりを防ぐこと ( 例えは、堰き止めるあるいはオイルを遮断する ) 。

液体を凝固させる材質 ( 砂、珪藻土、酸結合剤、万能接着剤 ) を用いて、取り除くこと。

**DEKAPHON 9735**

加工された日付: 25.02.2025

製品コード: 217072

ページ 5 の 14

その受け入れた物質は、廃棄物処理の章に従って、取り扱うこと。

**浄化にあたって**

十分に換気をすること。

汚染された床は、念入りに洗浄すること。

水ですすいではならない。

**その他参考となる事項**

情報は何もない。

**6.4. 他のセクションを参照**

安全取り扱い: 参照箇所 節 7

個人用保護具: 参照箇所 節 8

廃棄物処理: 参照箇所 節 13

**7 取扱い及び保管上の注意****7.1. 安全な取扱のための予防措置****安全取り扱い注意事項**

包装していない製品を取り扱う際は、局部吸引を備えた装置を使用しなければならない。

一ヶ所での吸引が不可能もしくは不十分ならば、可能な限り作業区域の換気をよくすることが、保障されるべきである。

**火災および爆発防護に関するアドバイス**

炎あるいは灼熱した物質に吹き付けてはならない。発火源から遠ざけておくこと - 禁煙。容器は圧力下にある。太陽光と50 °C以上の温度から守ること。たとえ使用後でも、無理やり開いたり燃やしたりしないこと。

**一般的な産業衛生に関する注意事項**

食料品・飲料品および飼料から遠ざけておくこと。汚れが付着し、濡れた衣服は、直ちに脱衣すること。皮膚を保護するための計画を作成し、遵守すること！休憩前や就業後は、手と顔を念入りに洗うこと、必要であればシャワーを浴びること。作業時には、飲食をしてはならない。

**扱いに関する追加的情報**

利用できる詳細な関連情報はない。

**7.2. 配合禁忌等、安全な保管条件****倉庫と容器の需要**

容器は、密閉した状態を保つこと。鍵をかけて保管すること。資格者のみが立ち入ることのできる場所に貯蔵すること。高濃度の箇所では、十分な換気と局部排気を行うこと。容器は、涼しく換気のよい場所で保管すること。熱・高温のもの・火花・裸火及び他の着火源から遠けること。禁煙。

**共同貯蔵に関する注意事項**

該当なし。

**保管状態に関する追加情報**

容器は、密閉した状態を保つこと。

**8 ばく露防止及び保護措置****8.1. 管理パラメーター****物質の許容濃度（日本産業衛生学会）**

CAS番号	物質名	ppm	mg/m³	繊維/ml	範囲
106-97-8	ブタン (全異性体); Butane (all isomers)	500	1200		許容濃度
78-93-3	メチルエチルケトン; Methyl ethyl ketone	200	590		許容濃度

## 安全データシート

EC規定No 1907/2006に拠る

## DEKAPHON 9735

加工された日付: 25.02.2025

製品コード: 217072

ページ 6 の 14

## 生物学的許容値 ( 日本産業衛生学会 )

CAS番号	物質名	物質	生物学的許容値	試料	試料採取時期
78-93-3	メチルエチルケトン; Methylethylketone	メチルエチルケトン	5 mg/l	尿	作業終了時または高濃度曝露後数時間以内

## 8.2. 曝露防止



## 適切な工学的制御

十分に換気をすること。

包装していない製品を取り扱う際は、できる限り局所吸引を備えた装置を使用しなければならない。

技術的な吸引または換気対策が、不可能もしくは不十分ならば、呼吸保護具を着用しなければならない。

## 保護・衛生対策

## 眼/顔面用の保護具

サイドガード付き保護眼鏡 (DIN EN 166)

## 手の保護具

推奨される手袋製品

FKM ( フッ化ゴム ), 破過時間: 480 min.

NBR ( ニトリルゴム ), 破過時間: 480 min.

前述した保護手袋を特別な用途に使用する場合、手袋の製造者に、化学物質耐性について確認することが望ましい。

保護手袋は消耗が見られたら新品と交換すること。

皮膚用保護クリームによる、予防的皮膚の保護。

## 皮膚の保護

靴および作業着は、帯電防止加工のものを着用すること。

## 呼吸器の保護

換気のよい区域で、あるいは呼吸用フィルターを用いて仕事をすること。

ガスフィルター装置 ( 欧州規格EN 141 ), フィルター材料/-媒体: A

短時間の フィルター材料/-媒体 : A1/P1

長期の フィルター材料/-媒体 : A1/P2

## 9 物理的及び化学的性質

## 9.1. 基礎物理および化学特性の情報

物質の状態:	エアゾール
色:	黒い
臭い:	特異臭
臭気閾値:	確定されていない

## 試験方法

融点/融解範囲:	確定されていない
沸点または初留沸点及び沸騰範囲:	- 44,5 °C
引火性:	確定されていない
爆発下限:	0,9 体積%
爆発上限:	11,5 体積%

## 安全データシート

EC規定No 1907/2006に拠る

## DEKAPHON 9735

加工された日付: 25.02.2025

製品コード: 217072

ページ 7 の 14

引火点:	< - 97 °C DIN 53213
発火点:	> 200 °C
分解温度:	確定されていない
pH値:	確定されていない
動粘度:	確定されていない
水溶性:	非該当
溶媒に対する溶解性	
確定されていない	
n-オクタノール/水分配係数:	確定されていない
蒸気圧:	3500 hPa
(で 20 °C)	
蒸気圧:	370 hPa
(で 50 °C)	
密度 (で 20 °C):	0,8 g/cm³ DIN 51757
相対蒸気密度:	確定されていない
粒子特性:	非該当

**9.2. その他の情報**

## 物理化学的危険性クラスに関する情報

## 爆発特性

確定されていない

## 可燃性の継続:

データなし

## 自然発火温度

## 固体:

確定されていない

## ガス:

確定されていない

## 酸化特性

確定されていない

## その他の安全性特性

## 溶剤の成分:

63,8 %

## 固形分濃度:

36,2 %

## 軟化点:

確定されていない

## 絶対粘度:

確定されていない

## 詳しい情報

情報は何もない。

**10 安定性及び反応性****10.1. 反応性**

規定に従って取扱い及び貯蔵される場合、有害反応はない。

**10.2. 化学的安定性**

本製品を通常の常温で保管すると安定である。

**10.3. 危険有害反応性の可能性**

知られた有害反応はない。

**10.4. 避けるべき条件**

利用できる詳細な関連情報はない。

**10.5. 不適合物質**

情報は何もない。

**10.6. 危険有害性のある分解生成物**

一酸化炭素

## 安全データシート

EC規定No 1907/2006に拠る

**DEKAPHON 9735**

加工された日付: 25.02.2025

製品コード: 217072

ページ 8 の 14

**11 有害性情報****11.1. 毒性情報****急性毒性**

入手可能なデータによると、分類基準に該当しない。

**ATEmix 算出した**

急性毒性の推定 (経口の) &gt; 2000 mg/kg; 急性毒性の推定 (皮膚の) &gt; 2000 mg/kg; 急性毒性の推定 (吸い込んでガス) &gt; 20000 ppm

**DEKAPHON 9735**

加工された日付: 25.02.2025

製品コード: 217072

ページ 9 の 14

CAS番号	化学名				
	曝露の経路	投与量	種	源泉、出典	方法
炭化水素、C7-C9、n-アルカン、イソアルカン、シクレン					
	経口の	LD50(50%致死量) >5000 mg/kg	ラット		
	皮膚の	LD50(50%致死量) >2000 mg/kg	イエウサギ		
	吸い込んで (4 h) 蒸気	LC50(50%致死濃度) >20 mg/l	ラット		
78-93-3	butanone; ethyl methyl ketone				
	経口の	LD50(50%致死量) 2740 mg/kg	ラット		
	皮膚の	LD50(50%致死量) 6480 mg/kg	イエウサギ		
炭化水素、C9-C10、n-アルカン、イソアルカン、シクレン、芳香族2%未満					
	経口の	LD50(50%致死量) 4951 mg/kg	ネズミ		
	皮膚の	LD50(50%致死量) > 5000 mg/kg	ネズミ		
	吸い込んで (4 h) 蒸気	LC50(50%致死濃度) 4951 mg/l	ネズミ		
128601-23-0	炭化水素、C9、芳香族				
	経口の	LD50(50%致死量) > 2000 mg/kg	ネズミ		
	皮膚の	LD50(50%致死量) > 3160 mg/kg	イエウサギ		
炭化水素、C6-C7、n-アルカン、イソアルカン、環状、<5% n-ヘキサン					
	経口の	LD50(50%致死量) > 5000 mg/kg	ラット		
	皮膚の	LD50(50%致死量) >3920 mg/kg	イエウサギ		
	吸い込んで (4 h) 蒸気	LC50(50%致死濃度) > 25,2 mg/l	ラット		

## 安全データシート

EC規定No 1907/2006に拠る

## DEKAPHON 9735

加工された日付: 25.02.2025

製品コード: 217072

ページ 10 の 14

## 刺激性及び腐食性

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 強い眼刺激。  
皮膚腐食性/刺激性: 入手可能なデータによると、分類基準に該当しない。  
繰り返し触ると、皮膚の乾燥やひび割れを引き起こし得る。

## 感作性影響

入手可能なデータによると、分類基準に該当しない。

## 生殖における発ガン性/変異原性/有毒性の影響

生殖細胞変異原性: 入手可能なデータによると、分類基準に該当しない。  
発がん性: 入手可能なデータによると、分類基準に該当しない。  
生殖毒性: 入手可能なデータによると、分類基準に該当しない。

## 特定標的臓器毒性 ( 単回暴露 )

眠気又はめまいのおそれ。(炭化水素、C7-C9、n-アルカン、イソアルカン、シクレン; butanone; ethyl methyl ketone)

## 特定標的臓器毒性 ( 反復暴露 )

入手可能なデータによると、分類基準に該当しない。

## 吸引性呼吸器有害性

入手可能なデータによると、分類基準に該当しない。

## 動物実験における具体的な結果

情報は何もない。

## テストに関するその他のインフォーメーション

情報は何もない。

## 実務での験

情報は何もない。

11.2. その他の危険有害性に関する情報

## 内分泌かく乱特性

内分泌障害ポテンシャル 情報は何もない。

## 詳しい情報

調合品/混合物そのものに対してデータなし.

## 12 環境影響情報

12.1. 毒性

長期継続的影響によって水生生物に有害。

CAS番号	化学名	水生有毒	投与量	[h]   [d]	種	源泉、出典	方法
炭化水素、C7-C9、n-アルカン、イソアルカン、シクレン							
	急性魚毒性	LC50(50%致死濃度) 1-10 mg/l	96 h	魚			
	ミジンコ毒性	EC50 mg/l	1-10	48 h	大ミジンコ		
128601-23-0	炭化水素、C9、芳香族						
	急性魚毒性	LC50(50%致死濃度) 1 - 10 mg/l	96 h				

12.2. 残留性と分解性

この混合物のデータはない。

## 安全データシート

EC規定No 1907/2006に拠る

## DEKAPHON 9735

加工された日付: 25.02.2025

製品コード: 217072

ページ 11 の 14

**12.3. 生物蓄積性**

この混合物のデータはない。

**n-オクタノール / 水分配係数**

CAS番号	化学名	Log Pow
78-93-3	butanone; ethyl methyl ketone	0,29
74-98-6	propane	2,36

**12.4. 土壤中の移動度**

この混合物のデータはない。

**12.6. 内分泌かく乱特性**

基準を満たす成分はないので、この物質は非標的生物に対して内分泌かく乱特性を有する物質を含んでいない。

**12.7. その他の有害な影響**

情報は何もない。

**詳しい情報**

この混合物のデータはない。

**13 廃棄上の注意****13.1. 廃棄物処理方法****廃棄の警告**

廃棄物は該当法規に従って廃棄すること。

他の廃棄物と混合しないこと。

**汚染した包装**

当局の規定に従って処分すること。

**14 輸送上の注意****海上輸送 (IMDG)****14.1. UN番号またはID番号:**

UN 1950

**14.2. 正式の国連輸送名:**

AEROSOLS

**14.3. 輸送における危険有害性クラス:**

2.1

**14.4. 包装等級 ( P G ):**

-

危険物ラベル:

2.1



海洋汚染物質:

no

特別な設備:

63, 190, 277, 327, 344, 381, 959

量制限:

1000 mL

微量:

E0

EmS:

F-D, S-U

**空輸 (ICAO-TI/IATA-DGR)****14.1. UN番号またはID番号:**

UN 1950

**14.2. 正式の国連輸送名:**

AEROSOLS, FLAMMABLE

**14.3. 輸送における危険有害性クラス:**

2.1

**14.4. 包装等級 ( P G ):**

-

危険物ラベル:

2.1

## 安全データシート

EC規定No 1907/2006に拠る

## DEKAPHON 9735

製品コード: 217072

加工された日付: 25.02.2025

ページ 12 の 14



特別な設備: A145 A167 A802

量制限-乗客: 30 kg G

Passenger LQ: Y203

微量: E0

IATA梱包方指示-乗客: 203

IATA最大数量-乗客: 75 kg

IATA梱包指示 ( 貨物機 ): 203

IATA最大数量 ( 貨物機 ): 150 kg

**14.5. 環境危険有害性**

環境に有害である: いいえ

**14.6. 使用者のための特別な予防措置**

警告: ガス

**他の該当する情報**

SW1 Protected from sources of heat.

SW22 For AEROSOLS with a maximum capacity of 1

litre: Category A. For AEROSOLS with a capacity

above 1 litre: Category B. For WASTE AEROSOLS:

SG69 For AEROSOLS with a maximum capacity of 1

litre:

Segregation as for class 9. Stow "separated from" class  
1 except for division 1.4.

For AEROSOLS with a capacity above 1 litre:

Segregation as for the appropriate subdivision of class  
2.

For WASTE AEROSOLS:

Segregation as for the appropriate subdivision of class  
2.

Category C, Clear of living quarters.

**15 適用法令****15.1. 物質または混合物に固有の安全、健康および環境に関する規則/法律****追加の指摘**

さらに、国内の法規則にも従うこと!

作業時には、化学物質による危険から作業者の健康と安全を守るために指令98/24/ECに従うこと。

**国内規定情報**

従業制限: 若年層への従業制限に注意する。

妊娠及び授乳中の母親の従業制限に注意する。

水に与える有害性等級 ( ドイツ ): 2 - 水を汚染する

**追加の指摘**

この混合物は、REACH第59条の候補リストに記載されている下記の高懸念物質 ( SVHC ) を含んでいる: なし

602343

## 安全データシート

EC規定No 1907/2006に拠る

## DEKAPHON 9735

加工された日付: 25.02.2025

製品コード: 217072

ページ 13 の 14

## 16 その他の情報

## 変更

このデータシートは次の項目の以前のバージョンからの変更を含んでいる: 2,9,11,15,16.

## 略称と頭字語の説明

Flam. Gas: 可燃性ガス

Aerosol: エアゾール

Compressed gas

Flam. Liq: 引火性液体

Asp. Tox: 誤えん有害性

Skin Irrit: 皮膚刺激性

Eye Irrit: 眼刺激性

STOT SE: 特定標的臓器毒性 ( 単回ばく露 )

Aquatic Chronic: 水生環境有害性 長期 ( 慢性 )

ADR: Accord européen sur le transport des marchandises dangereuses par Route

(European Agreement concerning the International Carriage of Dangerous Goods by Road)

IMDG: International Maritime Code for Dangerous Goods

IATA: International Air Transport Association

GHS: Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals

EINECS: European Inventory of Existing Commercial Chemical Substances

ELINCS: European List of Notified Chemical Substances

CAS: Chemical Abstracts Service

LC50: Lethal concentration, 50%

LD50: Lethal dose, 50%

## EC 規制 No 1272/2008による混合物の等級分類および適用した評価法

分類	分類方法
Aerosol 1; H222-H229	試験データを基にした
Eye Irrit. 2; H319	つなぎの原則 "エアゾール"
STOT SE 3; H336	つなぎの原則 "エアゾール"
Aquatic Chronic 3; H412	算出方法

## HおよびEUH条項の表記(番号および全文)

H220	極めて可燃性又は引火性の高いガス。
H222	極めて可燃性又は引火性の高いエアゾール。
H225	引火性の高い液体及び蒸気。
H226	引火性液体及び蒸気。
H229	高压容器: 熱すると破裂のおそれ。
H280	高压ガス: 熱すると爆発のおそれ。
H304	飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。
H315	皮膚刺激。
H319	強い眼刺激。
H335	呼吸器への刺激のおそれ。
H336	眠気又はめまいのおそれ。
H411	長期継続的影響によって水生生物に毒性。
H412	長期継続的影響によって水生生物に有害。
EUH066	繰り返し触れると、皮膚の乾燥やひび割れを引き起こし得る。

## 詳しい情報

この安全データシートの記述は、印刷時点における最良の知見に基づいている。その情報は、この安全データシートに記載されている製品の貯蔵、加工、運搬および処理の際、安全にとりあつかうための手がかりとなる



## 安全データシート

EC規定No 1907/2006に拠る

## DEKAPHON 9735

加工された日付: 25.02.2025

製品コード: 217072

ページ 14 の 14

はずです。その記述は、他の製品に適用することはできない。その製品が他の材料と混ざり合う、または加工されるかぎりでは、又は工程の場合、本製品安全データシートに記載された情報は新しく作られたどんな物質に対して必ずしも有効ではない。

( 危険成分に関するデータは、事前供給者からの最新の安全データシートから取得されました ) 。